

Another Side

畑と落語会と化石と

小石 剛

大阪府開業 こいし歯科
連絡先: 〒563-0058 大阪府池田市栄本町9-2-A

朝6時には畑へ出発です。子どもが生まれてからは、ますます早寝早起きの生活になりました。夜にはライブハウスに行って夜更かししてみたいけれど、子どもと一緒に寝て、その分いわゆる“朝活”を楽しんでいます。畑の朝はとっても気持ちがいい。秋は周りの田んぼでは金色の稲穂がこうべを垂れその周りには赤い彼岸花。ああ、日本の秋はええなあ！

畑に着いたら、麦わら帽子と軍手と長靴と、手には鎌と鍬を持って準備をします。携帯ラジオからはNHK ニュース。畑にはもっとも似合うBGMですね。もちろんというか、無農薬で頑張っています。なので、雑草はボーボー。せっせと草を刈って土を耕していると、どんどん汗がにじんできます。夏はすぐにビッチョリ。でもそんなとき、山から畑に風が通り抜けると何とも気持ちがいい！ 体も心もスーッと、クールダウン。ちょっと手を休めて山と青空を眺めてみると、「おはようさ～ん。ぼちぼちいきや～！」と声が聞こえてくるようです。

野菜ができれば、医院に来る子どもと一緒に収穫祭です。芋掘りは最高！ キュウリやトマトをおやつにほおばりながら、みんなどろんこで汗を流します。普段は野菜をまったく食べないという子も、このときばかりはキュウリを何本もほおばって。畑仕事は食育に最適だな～と実感。いつかは息子と一緒に野菜作りを！ その日を楽しみにして続けていきます。

奇数月の日曜日は落語会を開催です。待合室のキッズスペースに高座を作って座布団敷いて。気がつけば6年目。いつの間にかキッズスペースの上には提灯がつるされたままです。最近、「寄席小屋みたいな歯医者さんやね」と言われるようになって、褒めてもらっているのかどうなのか……。

でも実はにんまりと喜んでおります。

歯医者さん身近に好きになってほしいと、町おこしに協力をする形でスタートした落語会。かろうじて歯みがきグッズが登場する“手水回し”という古典落語にちなんで、落語会は“手水寄席”と名付けました。寄席では落語と“健口嚙”という健康の話を楽しんでもらい、この日ばかりは(?)診療室は笑顔と笑い声でいっぱいです！ 来場者の多くは、普段まったく歯医者さんに行かないという一般市民の方。「たまには歯医者さんに行ってね？」なんていろんな歯の話や健康の話をしています。これって啓発になりますから、いわゆる一次予防にとっても役立っていますよね！ そんな実感と待合室にあふれる笑い声が、またまたやる気にさせてくれて、にんまりと喜んでおります。

“健口嚙”のネタにという大義名分のもと、化石収集を始めました。階段横には、ティラノサウルスやトリケラトプス、マンモスの歯などがガラスケースに入っています。最近はこちらをエスカレートして、魚類から、両生類、爬虫類と進み、ゴリラ、猿人、

ヒトの頭蓋骨をならべて比較展示。歯の進化はこうだとか、頭や顎の変化はこうなつてだとか……。見せながら話すと、みんな興味津々。子どもがとってもしい付く食い付く！

小さなときから恐竜が大好きでした。いつかは僕も化石を手にと、という夢はこの最近の大人買いで一気にかないました。コレクションが増えると、来院した子どもにも自慢大会です。子どもと一緒に恐竜談議。いえいえ子どもたちの知識も侮れませんよ。検診の最中も恐竜話で時間が押してしまいます。これからは化石や骨だけを見に来る子が増えてくれても素敵だなと思っています。

次は「博物館みたいな歯医者さん」を目指そうかな！？

*歯医者さんの落語 手水寄席(ちょうずよせ)は奇数月に開催します。11月は落語会+音楽ライブです。詳しくは『こいし歯科』のHP (<http://www.834814.com/>)をご覧ください。



左上:「とったどー！」の芋掘り。左下:子どもにだけ褒められる階段横の展示(一部)。右:「手水寄席」の子ども落語大会の一コマ。